

科目名 (科目番号)	病 理 学 (111181)	教員名 横尾 智子	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		—	非常勤講師	
授業概要	<p>病理学とは生体に起こる病的な状態、すなわち病気の本態を解明する学問である。疾病はその成り立ちから、先天性異常、循環障害、炎症、腫瘍の四つの病変カテゴリーに分類されるが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因、それぞれの疾病で生じてくる変化、その経過、疾病がたどる転帰を総合的にとらえることが出来るように学ぶ。すなわち病理組織検査や細胞検査、各種疾患の病理学像、各種生化学的検査、生理学的検査結果などの関係について学ぶ。</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	病因論 先天性疾患	疾病の成り立ちを外因・内因に分けて理解し、病理診断までの検査の役割および流れを把握する。また、先天性疾患について、種類（奇形・染色体異常・遺伝性疾患）やメカニズムを理解する。				
	2	組織細胞障害	組織細胞障害とその修復機構について、進行性病変と退行性病変に分けて理解する。（変性・壊死・アポトーシス・萎縮・過形成・化生・再生・創傷の治癒の仕組みについて）				
	3	物質代謝障害	物質代謝異常（糖質・脂質・蛋白質・アミノ酸・生体色素・無機物質）の種類、機序を理解する。				
	4	循環障害	局所の循環障害（虚血・充血・うっ血・梗塞）から全身の循環障害（浮腫・傍側循環・ショック・高血圧症）まで、種類、機序を理解する。				
	5	炎症	炎症の形態的経過、炎症による全身症状（急性炎症・慢性炎症）を理解し、炎症の諸型（変質性炎・漿液性炎・線維索性炎・化膿性炎・出血性炎・偽膜性炎、特異性炎）についても理解する。				
	6	免疫異常	免疫反応機構とその異常について理解する。（アレルギー・免疫不全・移植と拒絶反応・自己免疫疾患・膠原病について）				
	7	腫瘍－1	定義、概要、分類について理解する。（良性・悪性腫瘍、上皮性・非上皮性腫瘍）				
	8	腫瘍－2	がんの広がり方、進行度、発生の原因、がん遺伝子とがん抑制遺伝子について理解する。				
成績評価の方法・基準	期末試験（90%）＋ 小テスト（10%）						
教科書	プリント配布						
参考図書	臨床検査学講座 病理学／病理検査学 系統看護学講座 病理学		松原修、他 著 坂本		医歯薬出版 医学書院		
教員からのメッセージ	毎回授業内に小テストを行います。しっかり予習と復習を行って授業に臨んで下さい。						